

備えあれば憂いなし

～災害時医療とトリアージ～

2011年3月11日は日本の歴史に深く刻まれる忌まわしい一日になってしまいました。震災のみならず津波のもたらした甚大な被害は、沿海近代都市に突きつけられたかつてない試練となりました。今回の大震災の特徴は500km以上に及ぶ広範囲な被災地域と津波に伴う溺死の多さです。被災直後の外傷の状況はまだつかめておりませんが、相当多数の方々が津波によって怪我をされ救護所に移送されていると聞きます。

かつて大津波を何度も経験し、防災意識の高い地域ですが、十分と思われる備えでもさまざまな問題が生じ、大自然には無力で限界があることを教えてください。

災害時最優先されることは生命の安全確保であることはいまでもありませんが、多くの自治体では防災担当部署が中心となり、消防・警察・医師会・歯科医師会・薬剤師会・市民団体等の代表者が集まって、災害時医療をいかに効率的に行うかを検討しています。そして災害時には医療拠点が作られ救護活動の中心となっていきます。

ここで行われる最初の活動はトリアージと呼ばれるもので、同時に多数の負傷者が発生した場合、医療能力を最大限に発揮させ最大数を救命できる方法としてフランスの軍隊によって初めて用いられたものです。その判定は可能な限り医師が行い、病状を4段階に判定し結果は順番に切り取り可能な4色のトリアージ・タグで表示し、負傷者の手首につけます。

その判定は

黒 カテゴリー0・・・死亡、もしくは救命不可能(死亡の判定ではない)

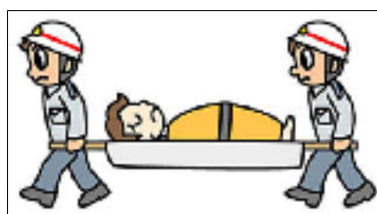
赤 カテゴリーI・・・生命に関わる重篤な状態で救命の可能性あり

黄 カテゴリーII・・・重症だが短時間なら状態は安定

緑 カテゴリーIII・・・致命的でない軽症なもの

搬送や救命処置の優先順位は赤→黄→緑→黒となります。最近では福知山線の電車脱線事故現場でこの方法が用いられ、負傷者の効率的な搬送に役立ったといわれています。万が一災害現場でこのトリアージ活動が実施された場合、その意義を理解し円滑な災害時医療にご協力いただきたいと存じます。

皆様もぜひ地域の防災訓練へご家族・ご近所の方と一緒にご参加下さり、防災意識を高めていただきたいと思います。



公式ホームページ利用ください。 <http://www.tamatoubusanpo.co.jp/>

60号2011年8月

多摩東部地域産業保健センターニュース

多摩東部地域産業保健センター 東京都三鷹市野崎1-7-23 三鷹市医師会内 TEL 0422-47-2155